

青森圏域

大規模氾濫時の減災対策協議会

取組状況

青森市 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：堤川、駒込川、沖館川、西滝川等20河川】

■ソフト面

【平成30年度の主な実施内容】

○洪水タイムラインの作成

市内河川を対象とした洪水タイムラインを作成しました。

○防災拠点機能の整備

防災活動拠点施設とバックアップ施設の機能強化を図りました。

- ⇒ 中学校等を防災活動拠点施設のバックアップ施設に位置付け、備蓄物資を配備
- ⇒ 高齢者や乳児のために飲料水を備蓄
- ⇒ 特設公衆の電話回線を敷設した防災活動拠点施設等で使用する電話機の整備

○避難所の整備

バックアップ施設(市民センター等)に整備している市街地表示式避難地案内板を災害対策基本法に基づく避難所標識板に更新しました。



○防災情報システムの整備

防災体制の強化を図ることを目的に、防災情報システムの「実施設計」を実施しました。

【令和元年度の主な実施内容】

○自主防災組織の育成

県と連携し、自主防災組織間の横のつながり(ネットワーク)を構築するための研修会を開催します。



○避難所の整備

平成30年度に引続きバックアップ施設(中学校等)に整備している市街地表示式避難地案内板を災害対策基本法に基づく避難所標識板に更新します。

○防災情報システムの整備

平成30年度実施の「実施設計」に基づき、防災情報システム(災害対策本部機能及び連絡体制用情報伝達機能)を整備します。



平内町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：小湊川、盛田川、明神川、長沢川、清水川、堀差川】

【平成30年度の主な実施内容】

○洪水・土砂災害防災訓練

・大雨による洪水・土砂災害を想定し、地域住民が主体となって要配慮者避難訓練、避難所運営訓練、応急・救命処置等の講習を実施



内童子地区防災訓練(H30. 9. 9撮影)

○地域防災に関する防災講義

・自主防災組織未結成の町内会を対象に、自主防災組織の役割や防災対策について講義を実施

○防災行政無線（同報系・移動系）の機器更新（デジタル化）に向けた調査等を実施

【令和元年度以降の主な実施内容】

・平成21年度に作成済みの洪水ハザードマップを、想定し得る最大規模の降雨を前提とした洪水浸水想定区域に基づき修正する。

・洪水浸水の危険性がある要配慮者利用施設は、町内に1施設あり、避難計画に基づいた避難訓練を実施する。

・避難勧告等の発令基準については、平成27年度修正の「平内町避難勧告等の判断基準及び伝達マニュアル」に基づいているが、水位の把握ができない河川における基準や、具体的な対応を想定した「水害対応タイムライン」を、今後作成に向けて検討していく。

・洪水浸水想定により被害を被る可能性のある地区を中心に、水害対応タイムラインを利用した避難訓練を実施する。

・防災行政無線（同報系・移動系）の機器更新（デジタル化）を実施予定。

今別町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：長川、今別川】

【平成30年度の主な実施内容】

○防災行政無線デジタル化に向けての実施設計見直し

○災害時に備えた備蓄品の整備

写真右：
いまべつ総合体育館内備蓄倉庫
(町備蓄品とJR備蓄品)

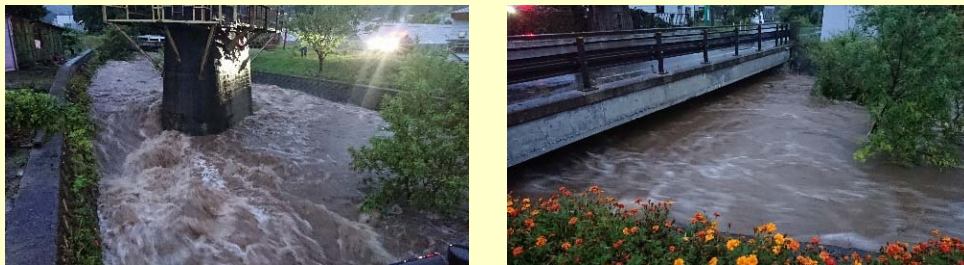


○災害時の巡回や広報活動に加え、夜間の水位確認等も行えるよう防災車の整備



写真左：
サーチライトやスピーカー
を登載した防災車

○台風の影響により二股地区が水位上昇し、防災担当職員と消防団が待機した。自主避難所の開設も行った

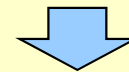


【令和元年度の主な実施内容】

○地域防災計画を今別町の現状に見合う内容とするための修正を行う

○補助金を活用し消防団の装備の充実を図り災害時に備える。また、消防車両の更新も継続的に行う

※消防団設備整備費補助金（消防団救助能力向上資機材緊急整備事業）



補助率1/3(地方負担2/3に特交措置)

今別町ではトランシーバーとチェンソーの整備



○緊急防災減災事業債を活用し、防災行政無線デジタル化工事の着手及び個別受信機の拡充

○防災マップや洪水タイムラインを活用した避難訓練の実施



外ヶ浜町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定 【対象河川：元宇鉄川、算用師川、増川川、湯ノ沢川、蟹田川】

【平成30年度の主な実施内容】

- ・平成19年3月に策定されて以来修正されていない外ヶ浜町地域防災計画を町の現状に見合う内容とするための修正に着手する。
- ・平館根岸地区の自主防災組織主催の避難訓練への参加。

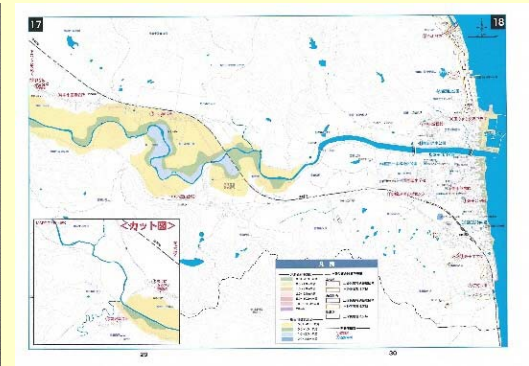


根岸自主防災会避難訓練 (H30. 10. 21撮影)

- ・平成30年8月15日(水)大雨により大雨・洪水警報が発令され、町では元宇田、弥蔵釜、板榔、龍飛地区に避難準備情報を発令した。町職員や消防団員が避難所への誘導を行った。
- ・町役場倉庫に水防資機材(土のう等)の備蓄を行った。

【令和元年度の主な実施内容】

- ・町防災会議を開催し、外ヶ浜町地域防災計画の修正を完了する。
- ・防災無線の難聴地域の把握・改善。
- ・外ヶ浜町防災マップに掲載されている蟹田川の洪水ハザード情報の、浸水想定区域の住民への周知徹底を行う。



外ヶ浜町防災マップの表紙(左)と蟹田川流域の頁(右)

- ・福祉避難所の運営訓練、研修会の開催。
- ・各水防団の設備、備品等の維持・充実。

蓬田村 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：瀬辺地川、小川平川、広瀬川、阿弥陀川、四戸橋川】

【平成30年度の主な実施内容】

○防災マップを作成し、毎戸配布を実施

・B4版(見開きB3横型)冊子タイプ・18ページ



○防災行政無線の機器更改を実施
(新デジタル方式)



ふるさと総合センター内の基地局設備

【令和元年度の主な実施内容】

○広瀬川・蓬田川の河床整理を実施予定



2級河川 広瀬川



準用河川 蓬田川

○自主防災組織の研修会を実施予定

・自主防災組織の役割や必要性についての理解を深め、地域の防災力の向上を目的に実施



・平成30年度は県との共同開催で実施
講師に日本赤十字社青森県支部の担当者を招き、講演と演習「防災カードゲーム」を行った。

野辺地町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：野辺地川、枇把野川、与田川、湯沢】

【平成30年度の主な実施内容】

○自主防災組織の活動支援及び防災士の資格取得支援 (水防体制の強化)

- ・平成30年度から自主防災組織の活動に対して、30,000円を上限に補助。
- ・平成30年度から自主防災組織に対し、防災士養成講座の受講費を半額補助。

○水防団員の募集

- ・団員募集に関するチラシを各町内会に配付。
- ・女性消防団員の勧誘。

【令和元年度の主な実施内容】

○避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認

- ・「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」は、平成23年に作成されたものであるため、本年度で見直しを行いたい。

○要配慮者施設における避難計画等

- ・避難計画未作成、訓練未実施の施設に対しての働きかけを行う。

○総合防災訓練への自主防災組織の参加

- ・本年度実施予定の総合防災訓練へ自主防災組織も参加依頼し、避難活動等の訓練を行う。



○本年度継続事項

- ・自主防災組織の活動への補助(30,000円上限)、防災士養成講座の受講費の半額補助。
- ・水防団員募集の用紙を自治会へ配付。
- ・女性消防団員の勧誘。

横浜町 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【対象河川：三保川、平山沢川、鶏沢川、桧木川】

【平成30年度の主な実施内容】

- 水害対応タイムラインの作成
 - ・水位周知河川及び洪水予報河川以外の河川について、他市町村の先行事例の調査
- 情報伝達手段の整備
 - ・指定避難所に戸別受信機を設置（5箇所）
- 水防団員の募集
 - ・団員募集に関するチラシを公共施設へ配布
 - ・各分団への人材確保に関する依頼を実施
 - ・町内会長会議で各会長へ人材確保に関する依頼を実施
- 水防団等の技術力向上のため水防工法訓練等に参加
 - ・関係機関が実施する水防工法訓練に団員を参加

【令和元年度の主な実施内容】

- 情報伝達手段の整備
 - ・福祉避難所（2箇所）に戸別受信機設置
- 避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認
 - ・現在の「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」は、平成22年に作成し、その後修正していないため見直す
- 町内会や学校への防災教室開催（計画・実施）
- 水防団等の技術力向上のため水防工法訓練等に参加
 - ・関係機関が実施する水防工法訓練に団員を参加させる
- 水防団員の募集
 - ・団員募集に関するチラシを公共施設へ配布
 - ・各分団への人材確保に関する依頼を実施
 - ・町内会長会議で各会長へ人材確保に関する依頼を実施

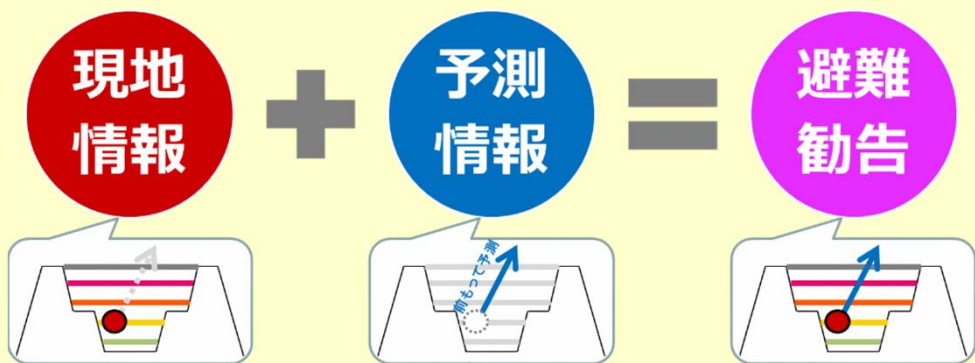


青森地方気象台 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

平成29年度から開始した危険度分布情報を、市町村の防災担当者や住民が、現地情報と合わせることで、避難勧告や避難開始を判断できるように周知・啓発を実施。

市町村長の避難勧告
住民の主体的避難



色が持つ意味	説明	内閣府のガイドラインの発令基準に対応する避難情報
極めて危険 すでに基準Ⅲに到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	
非常に危険 3時間先までに基準Ⅲに到達すると予測	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生するおそれが高い。水位が氾濫注意水位等を越えている場合には速やかに避難を開始する。	氾濫注意水位等を越えていれば 避難勧告
警戒(警報級) 3時間先までに基準Ⅱに到達すると予測	水位が水防団待機水位等を越えている場合には避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。	水防団待機水位等を越えていれば 避難準備 ・高齢者等避難開始
注意(注意報級) 3時間先までに基準Ⅰに到達すると予測	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	

【令和元年度の主な取組み予定】

地域防災支援を強化します。

平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います。

平時

- 市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力
⇒ 訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン
⇒ 利用者の立場に立った、情報提供
- JETTの派遣
⇒ 気象台職員を迅速に派遣

青森県防災危機管理課 平成30年度主な実施内容及び今後の取組予定

【平成30年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・「青森県防災ハンドブック」の全世帯（約56万）配布による防災意識の普及啓発



- ・防災全般に関する出前講座を計12回開催（357人聴講）



- ・自主防災組織未結成の町内会役員を対象とした体験研修会を計12回開催（496人聴講）
- ・防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るため、平川市において青森県総合防災訓練を実施（参加者約3,500人）

【令和元年度の主な取組の予定】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に応じて対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツールの検討を行うとともに、教育関係者やPTA等地域住民を対象とした啓発活動を実施
- ・昨年度に引き続き、出前講座や自主防災体験研修会を開催
- ・青森県総合防災訓練は8月27日に三沢市で開催

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・7月26日に深浦町で河川の氾濫や土砂災害を想定した深浦町災害対策本部図上訓練を実施予定

○市町村に対する避難対策等への助言・指導

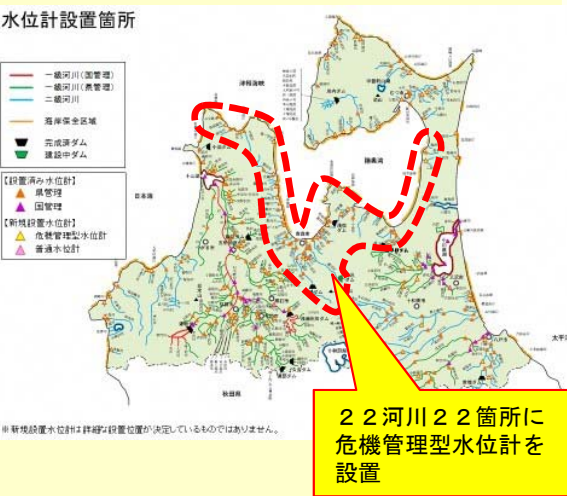
- ・避難勧告等の発令基準作成や避難対策等への助言・指導
- ・情報伝達手段の強化などの避難対策について市町村担当課長会議や地域懇談会において、助言・指導を行う

青森県河川砂防課 平成30年度主な実施内容

【平成30年度の主な実施内容】

○危機管理型水位計の設置【完了】

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、危機管理型水位計を県管理河川82河川82箇所に設置完了
うち、青森圏域は22河川22箇所に設置

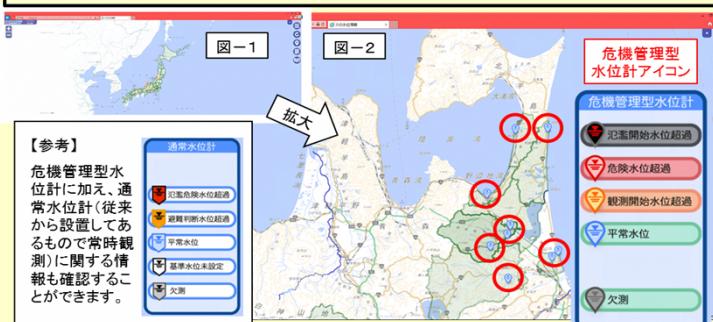


＜危機管理型水位計設置河川＞

市町村	設置河川
青森市	根井川、貴船川、沼川、合子沢川、牛館川、瀬戸子川、奥内川、内真部川
外ヶ浜町	蟹田川、湯ノ沢川、算用師川、元宇鉄川
横浜町	三保川
平内町	盛田川、明神川、長沢川
蓬田村	四戸橋川、阿弥陀川、瀬辺地川、広瀬川
今別町	長川
野辺地町	与田川

危機管理型水位計による観測水位の閲覧方法

① インターネットで「川の水位情報」のページを開くと、図-1の画面が表示され、ご覧になりたい危機管理型水位計のある地域を拡大していくと、危機管理型水位計のアイコンが表示されます(図-2)。



危機管理型水位計



○避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを策定【完了】

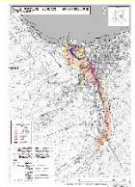
- ・避難勧告の発令に着目した洪水タイムラインを県管理河川35河川に策定完了
うち、青森圏域は12河川に策定

河川種類	河川名(青森圏域)
洪水予報	堤川・駒込川
水位周知	沖館川・西滝川・天田内川・新城川・野内川・小湊川・蟹田川・今別川・野辺地川・枇杷野川

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成・公表【継続】

- ・野辺地川、枇杷野川(野辺地町)において浸水想定区域図を公表
- ・堤川、駒込川、沖館川、西滝川(青森市)において検討を実施

浸水想定区域図→
(野辺地川・枇杷野川)



○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体(市町村)及び河川管理者(県)等による河川の合同巡視を継続実施
- ・平成30年度は、天田内川・新城川・西滝川(青森市)で実施

合同巡視実施状況



西滝川 (H30. 5. 29撮影)

○緊急排水計画の策定【着手】

- ・氾濫発生時における氾濫水の排水による浸水継続時間短縮を図るため、緊急排水計画の策定に着手

国土交通省ポンプ車



○ホットラインの運用【継続】

- ・河川管理者(県)から市長村長へ直接、河川水位の状況等を的確かつ確実に提供する体制を構築(H28.12月構築、H29~運用)
- ・平成30年5月・10月の豪雨では、蟹田川において避難判断水位を超過。このため、外ヶ浜町長へホットラインを実施

青森県河川砂防課 今後の取組予定

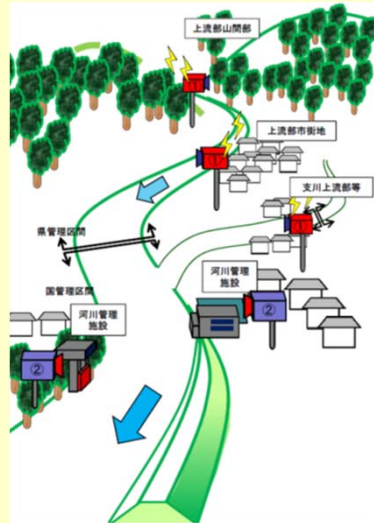
【令和元年度の主な実施内容】

○簡易型河川監視用カメラの設置【着手】

- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、簡易型河川監視用カメラを県管理河川65箇所を設置うち、青森圏域は堤川、沖館川（青森市）及び蟹田川（外ヶ浜町）等の16河川24箇所に設置予定

河川監視カメラ設置箇所

(参考)イメージ
簡易型河川監視用カメラ



市町村	設置河川
青森市	六枚橋川・新城川・沖館川・野内川・赤川・天田内川・堤川・浅虫川・沼川・奥内川
平内町	小湊川
外ヶ浜町	蟹田川・湯ノ沢川
蓬田村	阿弥陀川・広瀬川
今別町	今別川

○想定最大規模降雨による浸水想定区域等の作成・公表【継続】

- ・堤川、駒込川、沖館川、西滝川（青森市）において浸水想定区域図を公表
- ・天田内川、新城川、野内川（青森市）、蟹田川（外ヶ浜町）、今別川（今別町）、小湊川（平内町）において検討に着手（令和2年度中の公表予定）

○緊急排水計画の策定【継続】

- ・今年度は、民間ポンプ保有状況を踏まえ、災害時協定に基づくポンプ等排水機材の緊急配備を検討予定

民間所有ポンプ



○重要水防箇所の合同巡視【継続】

- ・今年度は、浪岡川（青森市）を対象に実施予定

○防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策【着手】

- ・堤川流域において河道掘削・雑木伐採を実施

○治水ハード対策の推進【継続】

- ・駒込川ダム本体建設工事（青森市）に着手
- ・天田内川総合流域防災事業（青森市）の継続実施
- ・中大川平沢総合流域防災砂防事業（今別町）の継続実施

駒込ダム完成イメージ

